
市 勢

1. 沿 革 - 1-
2. 市 域 の 変 遷 - 2-
3. 人 口 - 3-
4. 産業別就業者数（国勢調査） - 6-

1. 沿 革

奈良が歴史の表舞台に登場するのは、元明天皇が和銅3年（西暦710年）に藤原京からこの地に都を遷したことに始まる。以来7代の天皇、70余年の間首都として栄え、天平文化の華を咲かせた。

しかし、延暦3年（784年）に桓武天皇が山城の長岡京に遷られると、政治都市であった平城京は荒廃した。ただ東大寺、興福寺などの諸寺や、藤原氏の氏神春日社は、その後も広大な荘園を手に入れ平安京の諸寺と対抗し、かつての平城京外京の地は、その門前町となって南都と呼ばれた。

治承4年（1180年）の平重衡の南都の焼き討ちにより、東大寺、興福寺など天平時代の仏教伽藍の多くは焼失したが、源頼朝が幕府を開いた後、東大寺、興福寺は再建され、堂々たる復興を見るに至った。

その後、豊臣秀吉の行った全国の検地と寺領整理により荘園制度は終止符を打ち、今まで指導的立場にあった東大寺や興福寺などの南都諸大寺の勢力は衰えた。秀吉の後を継いだ家康は奈良奉行を置いて管理し、産業の奨励にも努めたので製墨、奈良晒などが発展した。

明治4年の廃藩置県により奈良県が設置されたが、同9年堺県に合併され、さらに同14年には堺県が大坂府に合併されたため奈良もその所管となった。明治20年になって奈良県の再設置が認められ、奈良に県庁が置かれた。明治22年には町制がしかれ、同25年には奈良・大阪湊町間に鉄道が開通し、同28年には現在の奈良国立博物館が設置され、明治31年2月1日、人口29,986人で市制が施行された。

その後、明治42年には現在の奈良女子大学が創立され、奈良市は県都として政治、文化、交通の中心地として発展した。

本市は、戦後、日本文化のふるさととして多くの観光客を受け入れるようになり、奈良の持つ文化的、観光的価値を将来に活かしていく目的で、昭和25年には国際文化観光都市を宣言し近代都市を目指すとともに、隣接町村との合併を行い、観光都市としての性格を備える一方、京阪神のベッドタウンとして市西部や北部に近代的な住宅団地が次々と建設され、人口は急激に増加した。

市制100周年に当たる平成10年には、「古都奈良の文化財」として8資産群がユネスコの世界遺産に登録された。

また、平成14年4月1日には中核市に移行。さらに、平成17年4月1日には月ヶ瀬村、都祁村と合併し、面積276.84km²、人口37.3万人となり、平成26年4月1日現在、人口36.4万人となっている。

2. 市域の変遷

編入年月日	編入区域	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
明31. 2. 1	奈良市制施行	1.52方里 (約23.44km ²)	29,986	5,613
大12. 4. 1	添上郡佐保村	1.94方里 (約29.92km ²)	44,418	9,158
昭14. 4. 1	添上郡東市村大字白毫寺	29.80	52,918	11,814
昭15.11. 3	生駒郡都跡村	39.52	59,434	13,335
昭26. 3.15	添上郡大安寺村・東市村、生駒郡平城村	68.50	89,432	21,045
昭30. 3.15	添上郡帯解町・明治村・辰市村・五ヶ谷村、生駒郡伏見町・富雄町	121.22	116,774	27,386
昭32. 9. 1	添上郡田原村・柳生村・大柳生村・東里村・狭川村	210.33	129,784	30,764
昭36.10. 5	(国土地理院公表)	211.91		
平元.11.10	国土地理院2万5千分の1地形図に基づく 図上測定により改訂値公表	211.61		
平 4. 9. 1	(国土地理院修正値公表)	211.60		
平17. 4. 1	添上郡月ヶ瀬村、山辺郡都祁村	276.84	373,574	146,589
平26. 4. 1現在		276.84	364,326	157,276



東端	月ヶ瀬石打	東経	136° 04'	東	西
西端	二名六丁目	東経	135° 42'	33.51 km	
南端	都祁吐山町	北緯	34° 33'	南	北
北端	広岡町	北緯	34° 45'	22.22 km	
海拔	最高：都祁吐山町 (貝ヶ平山)			822.0m	
	最低：池田町			56.4m	

3. 人 口

(1) 世帯数及び人口の推移

年次及び調査名	世帯数 (世帯)	人 口			1世帯 平 均 (人)	人 口 増 加 率 (%)	人口密 度1km ² 当 たり (人)
		総 数 (人)	男 (人)	女 (人)			
明治31. 2. 1 市制施行	5,613	29,986	15,297	14,689	5.34	—	1,279
大正 9. 10. 1 第1回国勢調査	8,737	40,301	20,270	20,031	4.61	34.4	1,724
14. 10. 1 第2回国勢調査	10,369	48,879	25,033	23,846	4.71	21.3	1,824
昭和 5. 10. 1 第3回国勢調査	11,336	52,784	26,195	26,589	4.66	8.0	1,970
10. 10. 1 第4回国勢調査	11,840	55,968	27,594	28,374	4.73	6.0	2,088
15. 10. 1 第5回国勢調査	12,332	57,273	27,477	29,796	4.64	2.3	1,922
20. 11. 1 人口調査	16,430	69,815	31,417	38,398	4.25	21.9	1,767
22. 10. 1 第6回 臨時国勢調査	17,708	82,399	42,512	39,887	4.65	18.0	2,085
25. 10. 1 第7回国勢調査	17,487	77,866	38,097	39,769	4.45	△ 5.5	1,970
30. 10. 1 第8回国勢調査	25,552	115,674	55,322	60,352	4.53	48.6	954
35. 10. 1 第9回国勢調査	31,026	134,577	65,548	69,029	4.34	16.3	640
40. 10. 1 第10回国勢調査	40,738	160,641	77,865	82,776	3.94	19.4	758
45. 10. 1 第11回国勢調査	57,111	208,266	100,561	107,705	3.65	29.6	983
50. 10. 1 第12回国勢調査	73,651	257,538	124,773	132,765	3.50	23.7	1,215
55. 10. 1 第13回国勢調査	90,821	297,953	144,250	153,703	3.28	15.7	1,406
60. 10. 1 第14回国勢調査	100,798	327,702	157,989	169,713	3.25	10.0	1,546
平成 2. 10. 1 第15回国勢調査	112,990	349,349	167,310	182,039	3.09	6.6	1,651
7. 10. 1 第16回国勢調査	123,718	359,218	171,926	187,292	2.90	2.8	1,698
12. 10. 1 第17回国勢調査	133,774	366,185	173,652	192,533	2.74	1.9	1,731
17. 10. 1 第18回国勢調査	140,544	370,102	174,469	195,633	2.63	1.1	1,337
22. 10. 1 第19回国勢調査	147,421	366,591	171,410	195,181	2.49	△ 0.9	1,324
26. 4. 1 現 在 人 口	157,276	364,326	171,773	192,553	2.32	△ 0.1	1,316

(2) 各地区別人口

(平成26年4月1日現在)

地区名	世帯数(世帯)	人 口		
		総 数 (人)	男 (人)	女 (人)
鼓 阪 地 区	6,013	13,298	6,311	6,987
飛 鳥 〃	6,224	13,824	6,494	7,330
済 美 〃	8,578	18,360	8,735	9,625
椿 井 〃	1,209	2,402	1,041	1,361
佐 保 〃	7,632	16,429	7,588	8,841
大 宮 〃	10,618	21,675	10,103	11,572
大安寺 〃	4,862	11,550	5,528	6,022
都 跡 〃	13,617	32,020	15,283	16,737
平 城 〃	8,188	20,357	9,747	10,610
伏 見 〃	12,999	28,636	13,515	15,121
あやめ池 〃	4,129	9,575	4,447	5,128
学 園 〃	11,425	27,106	12,576	14,530
登美ヶ丘 〃	10,249	24,175	11,159	13,016
富 雄 〃	23,106	57,162	26,875	30,287
神 功 〃	2,241	5,622	2,672	2,950
右 京 〃	2,462	5,285	2,381	2,904
朱 雀 〃	2,668	6,730	3,169	3,561
左 京 〃	2,260	6,034	2,885	3,149
辰 市 〃	5,080	10,612	5,113	5,499
明 治 〃	3,901	9,337	4,559	4,778
東 市 〃	3,279	6,976	3,321	3,655
帯 解 〃	1,433	3,405	1,636	1,769
精 華 〃	316	866	417	449
田 原 〃	776	1,880	902	978
柳 生 〃	456	1,201	567	634
大柳生 〃	405	1,041	469	572
東 里 〃	337	815	408	407
狭 川 〃	196	478	236	242
月ヶ瀬 〃	504	1,559	753	806
都 祁 〃	2,113	5,916	2,883	3,033
合 計	157,276	364,326	171,773	192,553
(内、外国人)	(1,390)	(2,814)	(1,265)	(1,549)

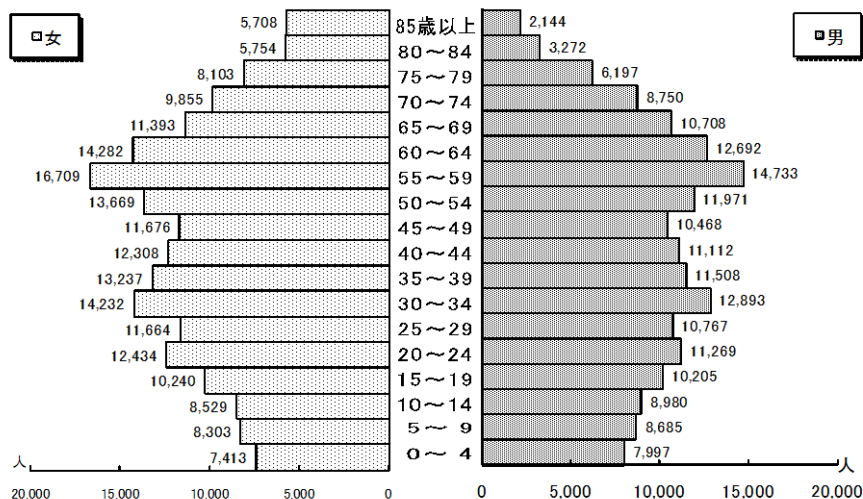
(3) 人口動態

(各年末現在)

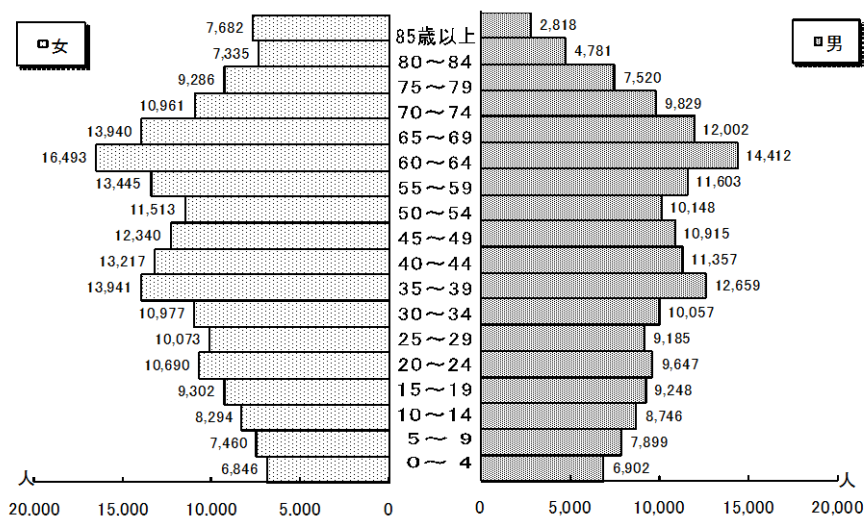
区分		年次				
		平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
自然動態	出生	2,773	2,858	2,714	2,686	2,633
	死亡	2,992	3,124	3,350	3,413	3,340
	増減	△ 219	△ 266	△ 636	△ 727	△ 707
社会動態	転入	12,481	12,498	12,263	12,235	13,170
	転出	13,499	12,549	12,637	13,059	13,274
	増減	△ 1,018	△ 51	△ 374	△ 824	△ 104
年間増減		△ 1,237	△ 317	△ 1,010	△ 1,551	△ 811

(4) 年齢別・男女別人口

(平成17年国勢調査)



(平成22年国勢調査)



4. 産業別就業者数（国勢調査）

区 分 産 業 名		平 成 1 7 年		区 分 産 業 名		平 成 2 2 年	
		就業者数				就業者数	構成比(%)
第 一 次 産 業	1 農 業	3,023	1.83	1 農 林 業	2,240	1.41	
	2 林 業	107	0.07				
	3 漁 業	4	0.00	2 漁 業	4	0.00	
	小 計	3,134	1.90	小 計	2,244	1.41	
第 二 次 産 業	4 鉱 業	18	0.01	3 鉱業、採石業	6	0.00	
	5 建 設 業	10,632	6.45	4 建 設 業	8,694	5.49	
	6 製 造 業	21,901	13.28	5 製 造 業	19,815	12.51	
	小 計	32,551	19.74	小 計	28,515	18.00	
第 三 次 産 業	7 電気・ガス・ 熱供給・水道業	906	0.55	6 電気・ガス・ 熱供給・水道業	863	0.54	
	8 情 報 通 信 業	4,420	2.68	7 情 報 通 信 業	4,182	2.64	
	9 運 輸 業	5,660	3.43	8 運輸業、郵便業	6,166	3.89	
	10 卸売・小売業	33,320	20.21	9 卸売・小売業	28,857	18.21	
	11 金融・保険業	6,139	3.72	10 金融・保険業	5,938	3.75	
	12 不 動 産 業	3,766	2.28	11 不動産業、物品賃貸業	4,371	2.76	
	13 飲食店、宿泊業	9,393	5.70	12 学術研究、専門・ 技術サービス業	6,838	4.32	
	14 医 療 , 福 祉	15,873	9.63	13 宿泊業、飲食サービス業	10,049	6.34	
	15 教育, 学習支援業	11,593	7.03	14 生活関連サービス 業、娯楽業	6,353	4.01	
	16 複合サービス事業	1,297	0.79	15 教育、学習支援業	11,029	6.96	
	17 サービス業 (他に分類されないもの)	26,480	16.06	16 医 療 、 福 祉	17,962	11.34	
	18 公 務 (他に分類されないもの)	6,801	4.13	17 複合サービス事業	745	0.47	
				18 サービス業 (他に分類されないもの)	9,146	5.77	
				19 公 務 (他に分類されないもの)	6,192	3.91	
小 計	125,648	76.21	小 計	118,691	74.91		
分類不能の産業	3,543	2.15	分類不能の産業	8,994	5.68		
合 計	164,876	100.00	合 計	158,444	100.00		